

2019年度 地域創生科目 北海道プログラム

➤ 日程

事前準備授業

6月13日、22日、7月27日、8月5日～7日（北海道から外部講師を招聘）

実地研修（右表参照）

8月25日～9月5日（9月4日は白老町民向け成果報告会）

事後研修

9月6日（学科報告会）、25日、10月2日、10月19日、20日（合同祭参加）

	8月25日 (日)	8月26日 (月)	8月27日 (火)	8月28日 (水)	8月29日 (木)	8月30日 (金)	8月31日 (土)	9月1日 (日)	9月2日 (月)	9月3日 (火)	9月4日 (水)	9月5日 (木)
午前	セントレア集合 飛行機移動 (中部→新千歳 JL3105)	二風谷地区視察、アットゥシ織見学	白老町・安藤尚志教育長表敬、白老町紹介(安藤啓一)	ライフスタイル・インタビュー A 大須賀るえ子 B 貳又聖規、宇佐見成美	カフェ手伝い「ママカフェ」 (ミナバ・チセ)	ポロトの森散策 (手塚日南人、三上融、藤田姫夏)	エクスカーション 仙台藩元陣屋、白老牛の店 いわさき	街歩き・聞き取り	引越し講義(林オルガ)	報告会準備(東町ハウス)	報告会準備(東町ハウス)	戸田安彦・白老町長表敬、荒井工芸店あいさつ レンタカー移動(白老→新千歳)
午後	レンタカー移動(新千歳→平取) 講義(萱野志朗)	二風谷アイヌ文化博物館見学、ムックリ演奏体験	街歩き・聞き取り	街歩き・聞き取り A 虎杖浜地区を調査 B アイヌ民族文化財団訪問	カフェ手伝い A 街歩き・聞き取り B ライフスタイル・インタビュー 田村直美	たき火でご飯(手塚日南人、田村直美)、クラブ体験(三上融)	エクスカーション カムイワッカ、ナチュの森、桔梗原農園、倶多楽湖	アイヌ刺繍体験 A ライフスタイル・インタビュー 岡田育子 B 街歩き・聞き取り	街歩き・聞き取り	報告会準備(東町ハウス)	報告会準備(「蔵」)	飛行機移動(新千歳→中部 JL3110) セントレアで翌日の学科報告会の準備後解散
夕方	萱野志朗二風谷アイヌ資料館見学	レンタカー移動(平取→白老 haku)	振り返り(「蔵」)	振り返り(「蔵」) B アイヌ語教室参加	振り返り(「蔵」)	振り返り(「蔵」)	エクスカーション 天井 三春、「北の太陽」 マンゴー農園、BikeJIN祭り前夜祭、登別温泉 夢元さざり湯	振り返り(「蔵」) 白老八幡神社・鈴木琢磨宮司招待による夕食会	振り返り 一品持ちより夕食会(東町ハウス)	報告会準備(東町ハウス)	白老町民向け成果報告会(「蔵」)	

➤ プログラムの趣旨

◆ 「地元学」からみた地域創生

「地域を創生する」ということは、何らかの既存の課題があってそれを解決するというだけでは必ずしもない。むしろ、住民と外部者とが協働しながら地域を調べ、地域にある資源・魅力を発見し、それを利用・活用しつつ「ケア」してゆく、それによって地域を不断に創り直してゆく作業のことだと考えられる。これは、吉本哲郎による**地元学**の実践であるが、このような**価値創造型の地域創生**についての視座をもち、実際に行動を起こすことができる人材の育成が本プログラムの趣旨であり、それを東海地方から離れた北海道で実施することに意義がある。

◆ なぜ平取町と白老町か？

- ① 平取町と白老町は、日本の**アイヌ文化**や**アイヌの先住民族としてのアイデンティティ**の発信拠点であり、東海地方に住んでいても見えてこない**多文化共生のあり方**を学ぶことができるから
- ② **多文化共生と地域創生**、さらには**国際交流**までも首尾よく結びつけること(つまり、**グローバル**な実践)に白老町の取り組みは成功しており、そこから多くのことを学び取れるから
- ③ 白老町外出身の**地域おこし協力隊**の方々が躍動しており、自ら考えて地域に入りアクティブに行動する、という人としての行動様式についても学生は多くのことを学べるから。

➤ 平取町・白老町の概要

沙流郡平取町：日高地方の西端に位置する内陸の町。アイヌ語で「崖の間」を意味する。**二風谷地区**はアイヌ文化の保存・発信の拠点となっている。面積は743.09平方キロ、人口は4,995人(2019年9月末)。

白老郡白老町：北海道の南西部、胆振振興局管内のほぼ中央に位置。53年の歴史を誇るアイヌ民族博物館が、現在、国立の**民族共生象徴空間ウポポイ**としてリニューアル工事中(2020年4月開館予定)。面積は425.64平方キロ、人口は16,687人(2019年9月末)で、住民は平野部に集中。



地図出典：ささやめぐみ作成